

L O O K

HOLDINGS INC.

株主通信

第58期 中間報告書 2019.1.1 ▶ 2019.6.30

株式会社 ルックホールディングス

証券コード：8029

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第58期第2四半期(2019年1月1日から2019年6月30日まで)における事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

今後も当社グループは「お客さま第一主義」の基本理念のもと、持続的な成長と安定的な取益を実現し、更なる企業価値向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

多田 和洋

当第2四半期連結累計期間の業績の概況について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は堅調に推移したものの、米中の貿易摩擦の長期化による中国経済の減速懸念などにより、依然として先行きは不透明な状況が続きました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、お客様のライフスタイルの多様化に伴う消費行動の変化に加え、衣料品に関する消費者の節約志向は依然として強く、訪日外国人による免税需要を除き、総じて厳しい環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは、2023年を最終年度とする中期経営計画を策定し、基本政策として掲げる「収益基盤の確立」、「EC事業の拡大」、「積極的な新規事業開発」、「経営基盤の構築」の各政策に取り組みでまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は213億7百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は6億4千5百万円(前年同期比61.6%増)、経常利益は7億5千9百万円(前年同期比53.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億6千9百万円(前年同期比18.8%増)となりました。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

■アパレル関連事業

「日本」につきましては、中核事業会社の株式会社ルックが展開するインポートブランド「イルビゾンテ」が、好調に推移したのに加え、商品企画の見直しを行ったライセンスブランド「スキヤパ」の春夏商品で回復基調が見られました。「A.P.C.」を展開するA.P.C.Japan株式会社においては、品揃えを強化したバッグやブランドロゴをあしらったTシャツの売上高が伸長したほか、本年5月にスマートフォンアプリを導入し、オンラインと店舗の連携を強化するなど更なる売上拡大策に取り組みでまいりました。EC事業では、会員向けポイントサービス「ルックメンバーシップ」の対象店舗をこれまでの直営店に加え、百貨店インショップへ拡大するなど、更なるお客さまの利便性向上に努めてまいりました。しかしながら、一部の連結子会社の決算期変更による売上高減少の影響などもあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は129億9千万円(前年同期比5.0%減)、営業利益は3億4千

9百万円(前年同期比25.4%増)となりました。

「韓国」につきましては、株式会社アイディー・ルックにおいて、主力インポートブランドの「サンドロ」及び「マージュ」などが引き続き好調に推移するのと共に、モバイル端末への対応を強化するなど自社サイトの利便性を高めた結果、オンライン売上も大幅に増加いたしました。また、「A.P.C.」においても積極的な新規出店により売上が大幅に増加しました。株式会社アイディー・ジョイでは、商品運営の効率が向上し、売上高及び営業利益が前年同期を上回りました。その結果、韓国の当第2四半期連結累計期間の売上高は79億2千4百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益は3億1千万円(前年同期比48.3%増)となりました。

「その他海外」(香港・中国)につきましては、ルック(H.K)Ltd.(香港)及び洛格(上海)商贸有限公司において、既存事業の売上が好調に推移いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1億3千6百万円(前年同期比23.9%増)、営業利益は1千2百万円(前年同期比52.0%増)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は210億5千1百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益は6億7千1百万円(前年同期比35.5%増)となりました。

■生産及びOEM事業

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、生産事業は国内グループ各社のアパレル製品の取扱高が増加したことに加え、他社OEM生産高が増加したことにより、売上高が前年同期を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13億3百万円(前年同期比3.3%増)、営業損失は2千6百万円(前年同期は3千2百万円の営業損失)となりました。

■物流事業

「物流事業」につきましては、株式会社エール・ロジスティクスにおいて、国内グループ会社の商品検査業務が増加した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5億1千9百万円(前年同期比0.4%増)、営業利益は8百万円(前年同期比4.3%増)となりました。

■飲食事業

「飲食事業」につきましては、株式会社ファッション・ブルフーズ・インターナショナルが展開する「ジェラテリ アマルゲラ」において、展開店舗数の減少により売上高が前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2千8百万円(前年同期比40.4%減)、営業損失は1千1百万円(前年同期は2千5百万円の営業損失)となりました。

通期の見通しについて

2019年12月期通期の連結業績につきましては、株式会社ルック、A.P.C.Japan株式会社および海外事業の業績が堅調に推移していることに加え、EC事業の更なる拡大に取り組むことなどにより、売上高は450億円、営業利益は17億円、経常利益は19億円、親会社株主に帰属する当期純利益は26億円を予想しております。

売上高



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益*



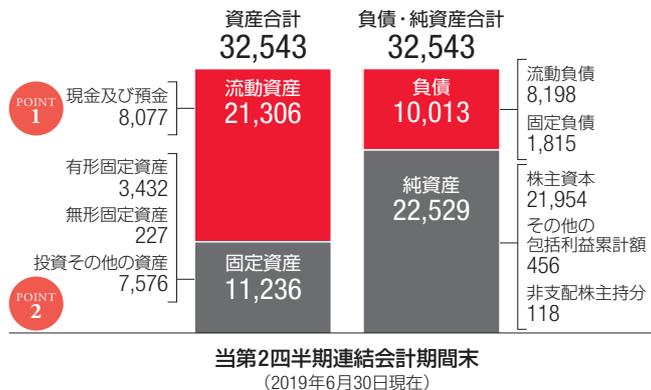
純資産



*2018年7月1日付で行った株式併合(5株を1株)の影響を考慮して換算しています。

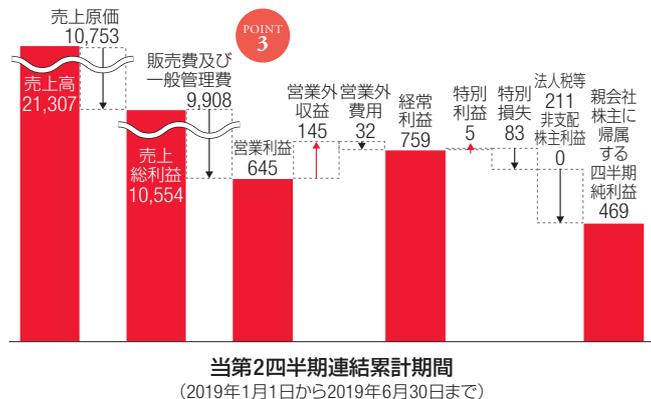
四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)



四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)



- POINT 1 現金及び預金**
季節要因によるたな卸資産の減少や、借入金の増加などにより、現金及び預金が前連結会計年度に比べ18億8千万円増加いたしました。
- POINT 2 投資その他の資産**
新本社ビルの賃貸に伴う敷金の増加などにより、投資その他の資産が前連結会計年度に比べ5億7千8百万円増加いたしました。
- POINT 3 営業利益**
売上高は前年同期を下回りましたが、仕入コストの低減による売上総利益率の改善、効率的な事業運営による販売費及び一般管理費の減少などにより、営業利益は前年同期に比べ2億4千6百万円増加いたしました。

当社は日本で独占輸入販売権を保有する革製品ブランド「イルビゾンテ」の企画、生産、販売を行うイルビゾンテ社(本社:イタリア フィレンツェ)の親会社であるBisonte Italia Holdings S.r.l.を本年7月1日に完全子会社化いたしました。

当社グループでは、1999年より「イルビゾンテ」の日本における独占輸入販売を開始し、現在は直営店舗やフランチャイズ契約店舗による小売事業、大手セレクトショップなどへの卸売り事業、及び自社サイトやECモールによるEC事業を展開しており、当社グループの中で最大規模の収益事業となっております。

当社はBisonte Italia Holdings S.r.l.の子会社化により、現在当社グループが2020年までの独占輸入販売契約を締結しておりますイルビゾンテ事業の長期的、安定的な運営を実施いたします。また当社グループの企画力を活かし、イルビゾンテ商品の付加価値を高めることにより主力の日本市場における売上をさらに増加させます。また、イルビゾンテ社が強化しているグローバルマーケットにおけるイルビゾンテ事業の展開においても、当社グループが日本市場でイルビゾンテ事業を成長させたノウハウを活かし、拡大することを目指してまいります。

当社はBisonte Italia Holdings S.r.l.の子会社化により、中期経営計画の基本政策である、さらなる安定的な収益構造の確立、EC事業の拡大、海外事業の開発を実現いたします。



CORPORATE DATA …… 会社概要

会社の概要

2019年6月30日現在

商号	株式会社ルックホールディングス
設立	1962年10月29日(登記上は1944年3月20日)
資本金	63億7,487万円
主要な事業内容	グループ会社の経営管理等
従業員数	1,565名(連結)
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行
本店	東京都目黒区中目黒2丁目7番7号

主要グループ会社

アパレル関連事業

国内	株式会社ルック A.P.C.Japan株式会社 株式会社レッセ・パッセ 株式会社デンハム・ジャパン
----	--

海外	株式会社アイディールック 株式会社アイディージョイ ルック(H.K.)Ltd. 洛格(上海)商貿有限公司
----	---

生産及びOEM事業	株式会社ルックモード
物流事業	株式会社エル・ロジスティクス
飲食事業	株式会社ファッションブルフーズ・インターナショナル

役員構成

2019年6月30日現在

代表取締役社長	多田 和洋	常勤監査役	永瀬 雅俊
常務取締役	高山 英二	常勤監査役	佐藤 正男
取締役	斉藤 正明	監査役	杉田 徹
取締役	澁谷 治男	監査役	山崎 暢久
取締役	福地 和彦		
取締役	井上 和則		

- (注) 1. 取締役 福地和彦および井上和則の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 杉田徹および山崎暢久の両氏は、社外監査役であります。
3. すべての社外取締役および社外監査役を(株)東京証券取引所の定める独立役員として指定しています。

STOCK INFORMATION …… 株式状況

株式情報

2019年6月30日現在

■発行可能株式総数	24,000,000株
■発行済株式総数	7,689,413株
■株主数	4,084名

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (ホームページURL)	☎ 0120-782-031 https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお問い合わせいたします。

公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<https://www.look-holdings.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

最新ブランドニュースなど 多彩な情報が満載

ブランドインデックス、その他各種イベント・新作情報・
ニュース、会社案内など最新情報をお届けしています。

<https://www.look-holdings.jp>



IR情報



<https://www.look-holdings.jp/irinfo/>

ルックがお届けする
ファッションブランド公式通販サイト

「ルックアットイーショップ」

LOOK@E-SHOP

当社グループの最旬アイテムが満載な「LOOK@E-SHOP」。

株主優待割引券をご利用頂くと、多彩なブランドの商品をお得にご購入頂けます。
ぜひこの機会に株主優待割引券を使って、インターネットショッピングをお楽しみください。

▼QRコード



<https://www.e-look.jp>



株式会社 ルックホールディングス

〒153-8638 東京都目黒区中目黒2丁目7番7号